

## 教員の自己点検・評価シート(2021年度春学期)の分析

2022年3月23日  
教学マネジメント会議

### 1. 自己点検・評価シート作成・分析の意義

- 1) 授業科目レベルにおいて PDCA サイクルを作動させること。教員による目標設定、実施・達成状況の把握、自己評価と次学期へ向けての改善点の認識が重要である。
- 2) 学位プログラムレベル、全学レベルにおける PDCA サイクルを作動させること。すなわち全体的状況の把握、良い事例の発掘、教育改善のアクションへの繋がりが重要である。

### 2. 全体的状況の把握

- 1) 自己点検・評価シートの作成提出について、全教員が真摯に取り組んでいることが確認できた。
- 2) 全般的傾向として、授業の到達目標を概ね達成できていると認識している教員が多い。ただし、達成できている明確なエヴィデンスを提示している教員は少ない。
- 3) 授業評価アンケートの回答率が低いと認識し、このことの問題点を指摘している教員が多い。
- 4) Google classroom の有効性を指摘する教員が多い。
- 5) コロナ禍のもと、発話の明瞭さの重要性を指摘する教員が多い。
- 6) オンライン授業において、学生とのコミュニケーションの重要性を指摘する声があった。
- 7) オンデマンド型授業において学生の理解度の確認の難しさを指摘する教員があった。
- 8) 授業評価アンケートにおける学生の意見に真摯に耳を傾ける教員があった。
- 9) オンライン授業における顔出し効果を認識する教員があった。

### 3. 良い事例の発掘(「 」内は、アンケート原文のまま)

- 1) アンケート回答率の向上のために次の努力を行う教員があった。  
「講義の質改善のため、可能な限りアンケートに回答してもらうため、こちらからもアンケートへの協力をうながす」
- 2) リアクションペーパーの活用  
「オンデマンド型の授業であってもリアクションペーパーなどを活用し双方向のコミュニケーションがとれるような工夫を行う」
- 3) ディスカッションの機会の創出  
「授業の進め方については、授業プリントの記入部分を調整すること(書き込み量をさらに削減)で、教員の話に余裕をもって聞くことができるようにしたい。ディスカッション(もっと指名する人を増やしてほしいという点など)については、Google クラブルームを用いて、ディスカッションの際に話したかったことを学生から収集することにしたい(それは、学生・教員間の意思疎通の改善にもつながると考える)」
- 4) 小テストの効果的実施方法について  
「オンライン授業での小テストの実施について、授業時間内におこなうなど、その実施方

法についての検討を行う。(オンライン授業での小テスト等の実施例のいくつかを開示いただければ参考にしたい)」

#### 5) 動画時間や配布資料の工夫

「講義の動画時間を極力 60 分以内に収めるようにしたが、講義時間の長さに対する要望が学生より寄せられた。60 分よりも短くするのではなく、上記のように各回の内容をもう少し減らすことが重要だと考えられる」

「講義の配布資料の量をもう少し減らすこと」

「配布資料を一部穴埋め方式にするなど、より講義に入り込めやすいような工夫をする必要がある」

#### 6) アクティブラーニングへ向けての工夫

「今回の課題を解決するために、授業内容をもう少し分かりやすく伝える必要があると感じた。指示や課題の出し方についても工夫する必要があると考えられる。また、発展演習の授業の特性上、一方的に授業内容を話すよりディスカッションを適切に組み入れてレポート作成ができるような授業内容にすると、より批判的思考が伸びるのではないかと考えられる。次の授業では、もう少し積極的にアクティブラーニング形式に従って授業を実施する予定である」

#### 7) 教員自身によるガイダンスの重要さ

「学生からの授業評価は概ね良かったが、振り返ってみると、classroom を見落とす学生も多く、授業が円滑に進まない事態があった。例)classroom の資料の提示、PC 持参等、いくつかの決まり事を授業初めに学生と決めて全体で共有する必要がある。

左記の課題を踏まえて、

①オリエンテーション時に、授業の細かな決まり事を学生と相談しておく。休みや授業形態のアナウンスをいつまでに classroom にアップするか、細かい状況を想定し具体的な文言で共有する。

②留学生の来日状況が不透明なため、オンラインでの履修の可能性はある。適宜電子教材の活用も行う。→テキストの変更も検討する」

#### 4. 改善事項の発掘(「 」内は、アンケート原文のまま)

##### 1) 講義を受けるマナーについて学生への指導

##### 2) 数学の授業の補充について

「計算問題への理解を深めるために他講義での数学のフォローをお願いしたい」

##### 3) 授業アンケートへのあり方に関する要望

「前回まで項目にあった授業難易度に関する項目(「難しいのか」「簡単なのか)」を入れてほしい。内容の難易をはっきりさせたいため」

#### 5. アクションに向けての要検討事項の提示

##### 1) 授業評価アンケートの質問項目、回収率向上の検討

##### 2) 講義を受けるマナーについての指導のあり方

##### 3) 小テストの効果的実施方法についての良い事例の共有の方法

##### 4) コロナ禍での効果的なアクティブラーニングの方法、ツール活用